

★美術の鈴木理香先生が絵本『ゆきどうろう』を出版されました。今、絵本は子供にだけではなく大人にも大きく支持されています。

今回は絵本の魅力とは何だろう?ということで探ってみました。★

3年 佐久間 萌

九里幼稚園にて 渡部 健一君



★美術の鈴木理香先生が絵本『ゆきどうろう』を出版されました。今、絵本は子供にだけではなく、大人が子供に読み聞かせる本で、読ませる本で、少なく、大人が子供に読み聞かせるものだ

(松居直の言葉より)

絵本の特集のために私達は九里幼稚園を訪ね、栗林由美先生にお話をうかがいました。

「絵本は子供に読ませる本で、少なく、大人が子供に読み聞かせる本で、読ませる本で、読ませる本で、少なく、大人が子供に読み聞かせるものだ」

絵本の魅力とは何だろう?ということで探ってみた。★

絵本の魅力とは何だろう?ということを聞きました。

子供たちそれぞれの個性を伸ばして上げられるよう、絵本が大好きになるように、大人は読み聞かせをする必要があるそうです。子供は、読んでいる大人の声色や表情まで感じて絵本の世界を楽しみます。いくら上手でも朗読टー

プでは一方通行で、子供の「なぜ?どうして?」に答えられない、と言うことでした。私達も幼い頃に絵本を読んでもらった覚えがあります。すっかり忘れたものだと思つても、それは案外心の奥にしつかりと、やさしい温かさとして残っているものなのですね。

また、絵本は声に出して読むことで、絵と文が生き生きとします。洗練された文章も、読む人の声が合わさることで、ぐっと世界が深くなるといいます。

そして一番の魅力は、なんといっても印象深い絵の数々ではないでしょうか。絵本作家の今江祥智さんも、著作『絵本のあたたかな森』の中で「絵本の短

絵本・その魅力

読む人の声の温かさで深まる

●『ゆきどうろう』で伝えたかったテーマを教えてください。

成せばなる!生きてい

る以上ののしく!つ

てところでしようかね(笑)

図書館だより

九里学園高等学校
図書委員会
印刷(株)川島印刷
TEL 21-5511(代)



●『ゆきどうろう』を作ろうと思つたきっかけを教えて下さい。

九里に来てワイーブ先生のお話に私が絵をつけたら面白そうだと思って、私の絵を見せたのがきっかけです。

●作つてみて苦労なさつた点は?

調べですね。雪灯籠が光る絵は、お祭りに何日も通つて描いたんです。絵が語れば文はいらない部分もあって、訳の本間先生には大変配慮していただきました。

●お子さんは一歳と四ヶ月だそうですが、どんな絵本を読んであげているんですか?

英語のしきけ絵本で『One,twelve』という本がお気に入りのようです。もっと大きくなつたら読み聞かせをしたいですね。

●絵本の魅力は何だと思われますか?

最近、大人向けで話題になつた『葉っぱのフレディ』なんかとつてもいいです。色彩豊かでページをめくる楽しみも魅力。マンガはダラダラした感じがあるけれど、絵本は言葉が洗練されて吟味されているのでいいですね。

理香先生にインタビュー



成せばなる!生きてい

る以上ののしく!つ

てところでしようかね(笑)

●『ゆきどうろう』で伝えたかったテーマを教えてください。

成せばなる!生きてい

る以上ののしく!つ

てところでしようかね(笑)

図書館だより

(2)

2002.2.27

三校(米工・米商・九里)で

百人一首を 楽しむ会

於 米沢工業高校



優勝 3-7 準優勝 3-8 3位 2-1
2002.1.21. 22
**ライバルは
3年8組**

百人一首クラスマッチ

冬休みも終わりに近づいた
一月七日、米沢工業高校で三
校合同百人一首を楽しむ会が
行われました。四十人程の参
加で、九里は約二十人でした。
その中の何人かはクラスマッ
チに出る人も参加してくれま
した。

カーペットが敷かれたかな
り大きな部屋で、源平戦で、
四人ぐらいのグループに分か
れてやりました。各校一人読
み手がいて、最初は九里の松
尾美香さんでした。みんなは
後半熱が入り、素早く札をと
れるようになつていきました。
中川浩子さんのグループ
が特に反応があり、一枚一枚

配慮されていました。これが
古来からの歌をゲームとして
楽しんできた伝統の節廻しな
のだと思いました。

どのグループも百人一首を
楽しんでできたようです。午
前中だけという短い時間でし
たが図書委員も、他の参加者
の人達もやり方や、ルールを
覚えることができて、充実し
た時間が過ごせたと思いま
した。

(一年 小野香保里)

3-7 鈴木美穂子

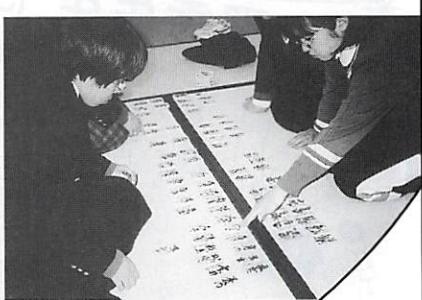
何故か私たちは自信に満
ち、初めから優勝できるのだ
と信じ込んでいました。
もちろん、それ相応の練習
は積んできました。作戦は冬
休みになる前からたて、そし
て冬休み中は数回、休み明け
は毎日放課後、そして日曜日
も練習に励みました。その成
果が本番で発揮されたのです。
練習中は、はつきり言つて
不安でした。人数が足りない
ときもあれば、練習相手が弱
すぎて自分たちが強いのか弱
いのかもさっぱりわからなか
ったからです。

ただ三年八組とは一回も
練習をしませんでした。それ
は、お互いに優勝するつもり
だつたし、絶対に決勝で当
ると思っていたからです。初
めからライバル視していたの
は、三年八組だけで、あとは強
いと噂に聞いても、あまり警
戒しなかつたように思います。



もう一つ、私たちが優勝す
ると決めていた原因は賞品が
図書券だったからです。私た
ちは絶対手に入れようと意気
込んでいたのです。

かくして、私たちは百人一
首大会に臨みました。選手は
いくつ緊張していく、初めは
知っている札もそれなかつた
りしましたが、慣れてくると
段々と調子があがり、楽にな
つてきました。



決勝はやはり三年八組とで
した。五分の戦いでしたが、
何とか私たちは勝つことができ
ました。

百人一首は作戦と暗記と
運。来年井澤先生のクラスに
なつたら、井澤先生の指導で
優勝することができるでしょう。
それまで作戦は非公開と
しておきます。

図書館 貸し出しベスト10

H13.4~H14.1.23まで

- | | | | |
|-----|-----|-------|------|
| 1位 | 3-8 | 松尾 美香 | 184冊 |
| 2位 | 3-8 | 佐久間 萌 | 164冊 |
| 3位 | 3-5 | 栗山恵美子 | 132冊 |
| 4位 | 2-8 | 竹内 瞳 | 96冊 |
| 5位 | 3-6 | 情野 早苗 | 81冊 |
| 6位 | 1-8 | 情野 香 | 70冊 |
| 7位 | 3-4 | 矢嶋 尚子 | 60冊 |
| 8位 | 2-6 | 金子真由美 | 46冊 |
| 9位 | 3-7 | 原川 美保 | 42冊 |
| 10位 | 1-4 | 山崎奈津美 | 40冊 |
| 10位 | 2-5 | 後藤 恵美 | 40冊 |



おしょうしなは 御笑止な



米沢方言に思う—— 2-6 金子真由美

私は方言がつむいできた「米沢の文化」を語り継いでいきたいものだと思っています。

考えていたのと全然違つたので驚いた。このような経験は本を読むとき大変多いのですが、私の予想を気持ちよく裏切つてくれた本に「閑吟集」を挙げたといいます。閑吟集というのはあまり馴染みのない名だと思いますが、室町時代の小歌、つまり流行歌のようなものをを集めた古典です。古典と聞くと即「難しい」と拒否反応が

本 喰い虫
の
井明
3-8 松尾 美香

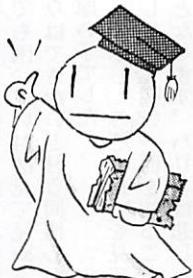
「閑吟集」は情熱的で

ストレート

でると思いますが、いえいえ、何とも楽しい世界です。多くは恋の歌なのですが、どれもこれも実に情熱的にストレート。まるでラテン人種のようです。片思い、忍ぶ恋、言葉は多少現代と違つていても、きっと共感できるものだと思います。それでも日本人は感情を表に出さないという從来のイメージはいつからなんでした。その他にも無常観を歌つたものもありますが、授業で習つた暗さはなく、同じく嘸い世でも、だからこそ瞬一瞬にすべてをかけること

うなエネルギー満々に満ちあふれています。何となく落ち込んだとき、大きな壁にぶつかつたときに「夢の夢の夢の世をうつつ顔して」などと読むと、今悩んでいた荷が軽くなり、ずいぶんと励まされることも多いのです。諸行無常だの、ゆく河の流れだの、暗い中世は一つの面でしかないのを知らされました。見境なく本を喰べ続けて三年目、いろんな本と出会い、それらをいろんな視点から樂しことありました。古典のよさは昔の人の生の声を開けるこ

とにあります。素顔の昔の人は結局同じ「人間」、とても親しめます。知らない人や世界に、ページをめくるだけで出会える、そんな本の魅力をどんどん感じて下さい。喰わざ嫌いはもう嫌いではない。



「おしょうしな」これは米沢の方言の中でも、一番みんなが知っているものだと思います。しかし、私たちの日常生活の中ではほとんど聞かれなくなりました。方言はいつのまにか共通語に統一されてきていると思います。この事は「米沢の文化」がなくなるのと同じ事ではないかと思うのです。

「米沢方言辞典」によるとおしょうしなは漢字で「御笑止な」と書くそうです。恐縮、気の毒という意味もあり、米沢の人のが見えるような気がします。

「日本国語大辞典」では意味は少しづれますが、かなりの地方で「じょうし」(笑止)は、方言として使われていることがわかり、驚きました。また、ありがとうという意味の方言は、全国いたるところにありました。宮城・群馬・富山の「ゴツツオーサマ」、島根の「ダンダン」、熊本では「チヨーヨーアータ」というそうです。その一つ一つが違つていてそれでいいと思います。その土地の風土にはぐくまれてその地に生きてきた感謝の意は、最高の意志として温かく使われてきたのだと思うからです。

「おしょうしな」これは米沢の方言の中でも、一番みんなが知っているものだと思います。

図書館だより

2002. 2. 27

(4)

活動を振り返つて

三一七 菊地 博子

新たなるスタートの弾みに

私が図書委員になつたのは二年生からでした。先輩や友人から教えてもらひながらの委員会活動がスタートしました。

自分からはまだ自主的な行動はできず、頼まれたことを一生懸命にすることを精一杯でした。

特に二年の時の九里祭ではますむらひろしさんについてでした。インタビューさせてもらったのですが、私は一言も話せずに、周りの人達が話しているのを聴くだけでした。しかしそれだけでも私はなぜかこの雰囲気の中にいることが嬉しかったのです。印象に残っている行事は昨年研修旅行です。新潟の中越高校との交流会でグループに分かれ、お互いの活動について話し合う場がありました。知らない人に自ら話しかけるのが苦手な私でしたが、そこでは三年生という責任から自分がしっかりと自信を持ち話をすることができました。

二年間の図書委員活動は私にとって自分を成長させる一つの大きな出来事になりました。もし、図書委員になつていなければ、こんなにも充実した高校生活を送つていなかつたと思います。三年間の収穫は、また新たな自分のスタートに、弾みをつけてくれるものになることを信じ、卒業したいと思います。

人の痛みに敏感なハリー

「ハリー・ポッターと賢者の石」
私の好きな
主人公

2-5 後藤 恵美

主人公ハリー・ポッターは親戚のダーズリー家にこき使われて暮らしています。ある日、ホグワーツ魔法魔術学校への入学許可証が届き、ハリーのすべてが一変するのです。普通の男の子から魔法界の超有名人へと。私がもしハリーの立場だったのなら、威張つて堂々としていたかもしれません。人の言葉を真に受け、何も行動へと移しはしなかつたでしょう。ハリーは違いました。人の言葉、ウワサ話を信じず、自分の目で確かめようとするような信念やこだわりがあつたのです。そ

のためにしなくてもいいような苦労をしたりもするのです。ユニークな同級生と先生達の学校の中は不思議だらけです。多分ハリーは仲間意識が強く、知らず知らずのうちに敵味方がハッキリと分かれています。どこまでも追及しようと隠れる優しさがありました。そんなハリーの性格は、私は輝きとしてみえ、魅了されるのです。

編集後記

はじめての編集でいろいろ不安でした。先輩の力をかりていい図書館だよりができたと思います。

絵本の魅力にせまつた編集は、ぜひ読んでみてください。
(2年 金子)

いつ、誰が……〈その11〉

書物の不思議

本屋さん ことはじめ

読者が本を買ってから製本業者に持つていて自分の好みの装丁をしてもらっていた。今まで、最も売れている本は、聖書で、およそ八〇カ国語に訳され出版されています。また、世界最大のベストセラー作家は、ウイリアム・シェークスピアだと言われています。

15世紀になると、一般の人々を対象としたABCの本や宗教的な本は、人が売り歩いた



本の出版は昔も今も大事業である。そのため、印刷技術のなかつた中世の時代には、本は手書きで書かれていて、同じ内容の本は何冊も置かれてはいなかつた。だから書店から本を買うということは不可能で、金を払って本を借り、自分で借りた本の内容を筆写しなくてはならなかつた。最初、印刷技術が伝わると、本の売り買いはすべて印刷業者が独占した。